

令和 5 年

寒川町教育委員会会議録

第 3 回 臨 時 会

日 時：令和 5 年 8 月 7 日（月）

午後 1 時 3 0 分 ～ 午後 4 時 0 0 分

場 所：町民センター 3 階講義室

出席者

<教育委員会>

教育長		大 川 勝 徳
教育委員	1 番	布 谷 あけみ
	2 番	小 川 雅 子
	3 番	大 森 博 明
	4 番	山 本 博 司

<事務局職員>

教育次長	内 田 武 秀
教育政策課長	高 橋 陽 一
学校教育課長	黄 木 悟
教育政策課専任主幹	押 味 亨
(兼) 学校教育課専任主幹	
学校教育課指導主事	畠 山 裕 子
学校教育課指導主事	高 橋 正 人
書記	千 野 あずさ

寒川町教育委員会第3回臨時会議事日程

1. 開 会

2. 会議録署名委員の指名

山本委員 大森委員

3. 議 事

議案第16号 令和6年度使用寒川町立小学校・中学校教科用図書の採択について

4. 閉 会

1. 開 会

(教育長)

皆さん、こんにちは。

定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。

ただいまの出席者は5名です。定足数に達しておりますので、これより令和5年寒川町教育委員会第3回臨時会を開会いたします。

以後、着座にて失礼いたします。

それでは、本日の日程はお手元に配付したとおりでございます。本日は広い会場ですので、発言は大きな声でお願いいたします。

2. 会議録署名委員の指名

(教育長)

本日の会議録署名委員は、山本委員と大森委員にお願いします。

<「はい」の声>

(教育長)

よろしくお願いいたします。

3. 議 事

(教育長)

これより議事に入ります。本日の議案は1件であります。

議案第16号、令和6年度使用寒川町立小学校・中学校教科用図書の採択についてを審議いたします。

令和6年度使用小学校教科用図書の採択に当たっては、寒川町教科用図書採択検討委員会を設置し、5月と7月に1回ずつ開催いたしました。採択検討委員会については、私のほか、教育委員も全員メンバーであり、公正かつ適正を期して、寒川の児童の実態を踏まえた熱心な審議を行ってまいりました。特に2回目の会議では、各委員から活発なご意見等をいただきました。

ここで、改めて事務局より、採択検討委員会の調査研究報告をお願いいたします。黄木課長。

(学校教育課長)

それでは、報告に先立ちまして、事前にお配りいたしました資料について御説明させていただきます。

県の採択方針や調査等の資料、教科書の趣意書などについては、既に教育長及び教育委員の皆様に出席していただいております検討委員会でお渡しして

おりますので、本日は、採択を行っていただく上で必要となる資料を配付させていただきました。

まず、資料1、令和6年度使用小学校・中学校教科用図書採択方針でございます。こちらは5月の定例会におきまして、決定していただいた寒川町教育委員会の採択方針であります。続きまして、資料2、令和5年度寒川町教科用図書採択検討委員会調査研究報告書でございます。最後に、資料3、令和6年度使用小学校教科用図書見本提出発行者別一覧表でございます。

それでは、検討委員会の調査研究報告をさせていただきます。寒川町教科用図書採択検討委員会は、第1回目としまして、令和5年5月26日金曜日、午後2時から町民センター講義室において、第2回目においては、令和5年7月18日火曜日、午後1時30分から町民センター視聴覚室において開催されました。

検討委員会は設置要綱のとおり、教育長及び教育委員の5名、校長会代表2名、教育研究会代表1名、保護者代表2名の計10名の委員が出席いたしました。検討委員会の皆様からはそれぞれのお立場からご意見をいただき、慎重にご審議をいただいたところでございます。

それでは、報告書の読み上げをもって、検討委員会の報告に代えさせていただきますと思います。資料2の報告書を御覧ください。

令和5年度寒川町教科用図書採択検討委員会調査研究報告書。

令和6年度使用小学校教科用図書について、5月26日と7月18日の2回にわたり検討した。その結果、次のとおりの結論に至ったので報告する。

国語については、東京書籍、光村図書出版の教科用図書を推薦する。

書写については、東京書籍、光村図書出版の教科用図書を推薦する。

社会については、東京書籍、教育出版の教科用図書を推薦する。

地図については、帝国書院の教科用図書を推薦する。

算数については、東京書籍、教育出版、新興出版社啓林館の教科用図書を推薦する。

理科については、東京書籍、大日本図書、教育出版の教科用図書を推薦する。

生活については、教育出版、光村図書出版の教科用図書を推薦する。

音楽については、教育出版、教育芸術社の教科用図書を推薦する。

図画工作については、開隆堂出版の教科用図書を推薦する。

家庭については、東京書籍、開隆堂出版の教科用図書を推薦する。

保健については、東京書籍、大日本図書、光文書院、Gakkenの教科用図書を推薦する。

外国語については、三省堂、光村図書出版の教科用図書を推薦する。

特別の教科道徳については、光村図書出版、日本文教出版、光文書院、Gakkenの教科用図書を推薦する。

令和5年8月7日提出。

寒川町教科用図書採択検討委員会委員長 大川勝徳。

以上でございます。この後、ご審議により各種目1社に選定していただき、

議案第16号、令和6年度使用寒川町立小学校・中学校教科用図書の採択についてを改めて御提案申し上げます。

(教育長)

ありがとうございました。

それでは、審議に入ります。まず、進め方についてですが、国語から1種目ごとに審議したいと思います。いかがでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

では、よろしくお願いいたします。

それでは、国語について審議を行います。検討委員会からは、東京書籍、光村図書出版の2社の推薦がございました。

それでは、委員の皆様からのご意見をお願いいたします。

布谷委員、お願いいたします。

(布谷委員)

どの教科書も子どもたちの国語の力を高める様々な工夫がされていて、その教科書会社ならではのやり方があって素晴らしいと思います。

その中で私は光村図書出版を推薦したいと思います。理由としましては、楽しく学ぶということを大事にしていると感じたからです。自ら学ぼうとする姿勢を育むための工夫が随所にあり、児童のわくわく感を引き出していると思います。

物語文では題と本文の文字のバランスがよく、挿絵も魅力的です。物語の世界に自然に入り込めるように感じます。また、説明文などの写真も大変鮮明で分かりやすいと思いました。

巻頭に「国語の学びを見わたそう」があり、どんな学習を通して、どんな言葉の力をつけるのかが視覚的に捉えやすくなっています。

また、国語で学んだことを他教科や生活に生かす工夫や、付録「学習を広げよう」においてまとめの教材の内容も充実しており、何を学んだかを押さえ、積み重ねていくことの大切さを示しています。

終わりになりますが、1年生の教科書の重さが軽いのは入学直後の児童にとってはとてもよいことだと感じました。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。

他にはいかがでしょうか。

小川委員、お願いいたします。

(小川委員)

今回、教科書採択に携わらせていただいて、どの出版社、どの教科の教科書も子どもたちの成長に寄り添って、とても温かく見守ろう、支援しようという気持ち、作り手さんの中の気持ちがとても伝わってきました。その中から1社に絞るというのはとても難しい、大変な作業でした。

国語に関しましては、どの出版社の教科書も絵本などに興味を持つように本の紹介をするページに工夫がされています。また、文章から読み取る力を育てたり、話す、説明する、よその人に伝えるといったことを習得できるような内容となっていました。

光村図書と東京書籍の話を少しさせていただきたいのですが、光村図書の教科書は、自分の考えや状況をしっかりと捉え、人に伝え、説明するなど言葉によるコミュニケーション力が高まると感じています。「大切に」のところでは大切なことを確認し、「生かそう」で発展させて考えたり、「問いを持とう」、目標などで分かりやすい問いかけをもって学びを深めていくプロセスというのが大変分かりやすかったです。

また、「話す・聞く」のところでは、見通しをつけた話の進め方が学べると思いました。これはプレゼン力の向上が期待されますし、これから子どもたちに身につけてもらいたい大切な力だと考えました。本を読む楽しさを育み、児童の内面の成長に寄り添う教科書だと感じています。

そして、東京書籍の教科書は、色彩、デザイン、余白など、私自身が、とても目が悪いのですが、そういう私にも大変見やすい余白でした。特に印象的なのは、自然や風景、生き物の写真というところに引きつけられました。

例えば3年生の教科書にある「カミツキガメは悪者か」というところがあるのですが、カミツキガメの迫力ある写真が、どこことなく人間に迷惑だと思われると思っているような、悲しさまで感じるすばらしい写真で、その単元で外来種などの生態系についても深く考えさせられました。

5年生の「問題を解決するために話し合おう」というところでは、身の回りの問題、様々な人の考えを出し合って解決方法を探すのですが、意図を明確にしながら話し合うというスキルを学べると思いました。

6年生では、論の進め方を工夫したり、感想を伝え合ったりする力を丁寧に学習でき、これは多様性と言われる社会に必要な考え方、解決の仕方を学習できると感じました。

また、大変興味深かったのは、4年生でローマ字を習うところで、例えば新宿と書いたとき、習いたてのローマ字で書くのと、駅の表示、案内板のスペルが違っていて、これは、ヘボン式を使うとは書いていないのですが、日本語の発音に近づけるためにこのように2通りの表示があるということも学べる。私も疑問だったのですが、そういうことも書かれていて、なるほど、いいところに目をつけてくださっていると思いました。

結論的には、教科書によって知ることの楽しさ、様々な分野に興味が広がるという理由で、私は東京書籍の教科書に出会いたいと思いますので、東京書籍

を推薦させていただきます。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。

他にはいかがでしょうか。

山本委員、お願いします。

(山本委員)

今回、検討委員会の推薦から東京書籍と光村図書出版の2つの教科書をもう一度見させていただきました。東京書籍も日本語の美しさ、豊かさといったものに触れられるように工夫されているところ、また、単元の初めから終わりまで言葉の力を意識して学べる仕組みがあるところがよかったと思います。

光村図書出版については、各学年で設定されている、話す・聞く、書くの題材は子どもの生活や学校での身近な物事に取り上げていて、とてもよいと思いました。

その中で私は光村図書出版を推薦します。分量も適切で児童にとって見やすく、体裁が整っているところ、主体的、対話的で深い学びの実現に向けて学習の流れが明記されているところなど、寒川町の児童に適していると考え、光村図書出版を推薦したいと思います。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。

大森委員はいかがですか。

(大森委員)

各教科書が子どもたちの国語力を高めるいろいろな工夫をされている中で、私は光村図書を推薦したいと思います。

光村図書はユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザインの観点に配慮されており、文字の濃さや文字のサイズの大きさは見やすくなっていると思いました。

「振り返ろう」で3観点について振り返ることができて、「言葉の宝箱」は見やすく使いやすいいとも思いました。読書活動を推奨するページも豊富で、「本は友達」が年間2回入っており、図書館利用を促されています。

これからの時代は今後ますますSNS等が主流になっていくと思います。だからこそ、寒川の子どもたちには国語力を高めて、コミュニケーション力も高めてもらいたいと個人的には思っております。ゆえに、私は光村図書を推薦したいと思います。

(教育長)

ありがとうございました。

私もどちらの教科書もいい読み物が沢山あり、すばらしいと思いました。

私も光村図書を推薦させていただきますが、1年生から6年生まで各学年に合ったいい読み物がバランスよく定期的に配置されておりました。寒川の子どものたちの国語力を高め、豊かな心を育むのにも適しているのではないかと思います。光村図書出版を推薦させていただきます。

今、こうしてみますと、光村図書出版を推薦する意見が多いようですが、小川委員、いかがですか。

(小川委員)

私も2社の教科書は大変よいと思っていますので、皆さんと同じで結構です。ただ、私たちも個性があり、子どもも個性があるので、こちらの教科書に出会いたいと思ったというお話だけです。

(教育長)

ありがとうございました。

他にこの場でご意見はよろしいでしょうか。

では、他にないようでしたら、国語につきましては、寒川町では光村図書出版ということによろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

続きまして、書写についての審議を行いたいと思います。検討委員会からは、東京書籍、光村図書出版の2社の推薦がございました。

それでは、ご意見をお願いいたします。

大森委員。

(大森委員)

各社とも字を書く楽しさを伝えようと工夫されていましたが、私は光村図書出版を推薦いたします。

基本的な部分では各社ともすばらしいと率直に思いましたが、その中でも東京書籍は目次で、どこで何を学ぶかが分かりやすく、特にシンプルに明快に書くことが学ぶことに焦点を当てており、分かりやすく感じました。

「書写のかぎ」も分かりやすいと思いますが、光村図書出版は、4年生では「町の安全を伝えよう」との掲載があり、字を書きながら防災マップを通して身近に字の種類を学ばせようと工夫があり、驚きました。この教材を通して一人一人のハザードマップを作っていくことで、字の種類や大きさ、そして、地元寒川も好きになってもらえるような教材になればと思いました。

あとは、小学6年生の最後の記述に「私の文字」が掲載されています。字は

きれいに書くことも大切ですが、一人一人個性と味があることを最後に掲載し締めくくっていることに感激いたしました。

他にも多々ありますが、以上の点から、私は光村図書出版を推薦いたします。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。小川委員。

(小川委員)

書写は、どの出版社も1、2年生に水筆で書く付録があり、書くことを楽しむという仕掛けがあって、楽しく始められると思いました。

東京書籍は、なぞり書きの分量が多くて書き込みやすいように思いました。そして、毛筆の書き始めの、筆の置き方、折れるところ、とめ、はらいなど、毛先の動き、力の抜き方など色遣いの工夫がされ、分かりやすく説明されていました。

光村図書は、1年生から6年生まで猫のキャラクターが使われています。表紙では猫たちの学校生活が楽しげに描かれていて、それが本文の中にもところどころ猫たちが登場して、表情豊かに文字のとめとかはね、はらいなどを指南しています。これは勉強が楽しくなるという気持ちが増すのではないかと思います。

大森委員がおっしゃったことと、似たところに感動したのですが、まず、「町の安全を伝えよう」のところで、これまでに学習したことを生かして防災マップを作るというページがあります。寒川町はハザードマップに色がついている学校がありますので、こういった防災マップを作ってみて、日頃から安全な生活に心がけていただきたいという思いがありますので、いいなと思いました。

それから、1年生から6年生まで書写を勉強してきて、きれいな字、美しい字、などを勉強してくるのですが、6年生の最後に「私の文字」というのがありました。そこには水泳選手の池江璃花子さんの文字、歌舞伎役者の市川染五郎さん、そして、絵本作家のヨシタケシンスケさんの直筆の名前が載せられています。

上手に書く勉強をしてきたのですが、人の書く文字には味わいがあって、その人の個性の一部であるということが表現されていて、大変子どもたちの心に寄り添うものだと思います。

6年間勉強してきて自信を持って卒業を迎えてもらいたいという教科書を作った人から子どもたちのエールのような温かみを感じましたので、私は、書写は光村図書を推薦させていただきます。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。山本委員。

(山本委員)

2社見させていただいて、東京書籍については、筆の入れ方の図や児童にも分かりやすい表記の仕方、また、折れや結びの書き方を意識がしやすいように工夫されていて、なぞりや書き込む分量がとても多いというところがよかったです。

光村図書出版については、書き方のポイントでイラストを用いて、1年生の最初に「書写スタートブック」や、3年生のところで「毛筆スタートブック」があり、それが分かりやすかったのと、音で、スーッと来てピタッのように唱えて書くようになっていたり、毛筆、硬筆の書き方や持ち方の違いが比較的に分かりやすかったりというところがありました。

その上で、私は光村図書出版を推薦したいと思います。横書き、原稿用紙の使い方、リーフレット、今出てきたようにマップの書き方などいろいろな部分で役に立つような、授業でも使えるようなものが出てきていましたし、児童の発達段階に対応して、どの子にとっても分かりやすい、寒川町の児童には適していると思いました。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。他には。布谷委員。

(布谷委員)

どちらの教科書も知識、技能を習得するための工夫が随所にされていると思います。その中で私は光村図書出版を推薦します。

文字を書く楽しさを感じ、学ぶ意欲を高めるために、低学年ではなぞり書きなど体感を通して理解を深めることや、高学年では観察や比較を通して主体的に取り組める工夫がされています。

先ほど来、他の委員たちからもありましたが、動物キャラクターの動きなどを活用して、直感的に筆遣いを理解することができることもよかったです。

さらに、学習の進め方も分かりやすく、学んだことが日常に生きる教材が豊富です。準備体操や整理体操などの活動もあり、児童が楽しく学習に取り組む様子が目に浮かんでくるようです。以上の理由で、光村図書出版を推薦します。

(教育長)

ありがとうございました。

習字の授業では、乾いた筆で上から教科書をなぞることがあります。そうすると、はねるのか、とめるのか、といった時に、ちょうどよいところに、一言書いてあると、それが分かりやすく、私にとっては非常に使いやすい教科書でした。

この2社の教科書はどちらもあてはまりますが、特に光村図書出版は、そうした工夫がうまい具合にされている。そういう意味で子どもたちも非常に使いやすいのではないかと思います。光村図書出版を推薦させていただきます。

以上により、書写につきましては、皆さん一致で光村図書出版ということで

よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

書写につきましては、寒川町では光村図書出版ということにいたします。

続いて、社会について審議を行います。検討委員会からは、東京書籍と教育出版の2社の推薦がございました。ご意見をお願いいたします。山本委員。

(山本委員)

東京書籍は、時間ごとに学習の目当てを示していて、「つかむ」から「調べる」、「まとめる」、「いかす」などの進め方が詳しく説明されて、学習のポイントとなる学びのポイントで活動を示しています。また、ドラえもんで社会科の見方や考え方といったものを示し、内容も分かりやすく、児童の自主的、自発的な学習に向いているところがあって、とても工夫されていました。

教育出版については、神奈川県が地域が取り上げられていて、寒川の子どもたちにとっては受け入れたいところでもあります。学習の流れがインデックス、「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、「つなげる」などが出ていて分かりやすいところ、昔の写真がカラーになっていて、当時の様子が児童にイメージしやすい、また、6年生の学習内容が政治と歴史が1冊にまとめられていて、歴史と政治が見通しを持って学習できることや、また、「この時間の問い」や「次につなげよう」という発問が掲載しており、問題解決的な学習の進め方を習得することにも適していました。

以上のことから、私は教育出版を推薦します。寒川の児童の実態から見て、難易度、あるいは分量が適切で興味を持って学びに向かうことができるといった工夫がされていると感じましたので、教育出版を推薦します。

以上です。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。大森委員、お願いします。

(大森委員)

各社を読ませていただきまして、どの教科書も全てよいところがあり、どれにしようか迷いながら選ばせていただきました。その中で私は教育出版を推薦いたします。

東京書籍、教育出版とも言葉の確認やまとめのページがあり、有効的に学習に使用できる工夫がされていました。分量、バランスもよく構成されていると感じました。多角的に考えるきっかけとなるよう工夫がされ、人と物事がつながる工夫がされているとも思いました。

教育出版はキーワードが各ページにまとめられ、單元ごとにポイントが明確

であり、学習の進め方が分かりやすいと感じました。

また、今話題のSDGsとつなげて考える内容も多かったと感じております。

最終的に東京書籍は社会が苦手な子どもでも分かりやすく、興味を持たせるような掲載の仕方が素晴らしいと思いましたが、教育出版は神奈川県の記事や神奈川県の町の様子を話題に取り上げ、分かりやすく学習が紹介されており、神奈川を身近で感じられる点から、私は教育出版を推薦させていただくことといたしました。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。布谷委員、お願いします。

(布谷委員)

私も教育出版を推薦します。巻頭の部分に「社会科の学習を広げる」、「タブレット型コンピューターを生かそう」、「前の学年を振り返ろう」、「社会科で使う見方・考え方」、「他の教科などとのかかわり」、「社会科の学習の進め方」という項目立てがあり、その扱いがとてもよくまとまっていて、子どもたちがその学年で学ぶ内容のイメージがつかみやすいと思いました。これらを踏まえて、子どもたちが調べたり、考えたりする力や社会とつながる力を身につけていくことができると思います。

また、他の委員の意見にもありましたように、神奈川県が地域が多く取り上げられているのも子どもたちにとって身近でよいと思いました。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。小川委員、お願いします。

(小川委員)

私も教育出版を推薦させていただきます。3年生で神奈川県の市町村地図も大きくなっていて、ほかの委員も発言されていましたが、自分たちが住んでいる町が神奈川県の中でどの位置にあって、どのぐらいの大きさなのかというのが一目で分かる、理解ができるというところはよいと思いました。

また、社会科という教科に出会って、まず、自分の住んでいる県から学びが始められるというのは大変幸運だと思います。4年生のところですが、「水はどこから流れてくるのか」という単元では、この町の寒川浄水場も地図の中にありました。身近な場所から教科書の学びにつながるということは学習意欲が大いに高まると思いますので、選ばせていただきました。

そして、インデックスで「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、「つなげる」などが書かれているすぐ横に「この時間の問い」というのがありまして、今日勉強する目的というものが把握しやすいと思いました。

そして右下に、そのページの終わりのところには、「次につなげよう」とい

う問いが用意されていますので、この部分でまたさらに深い学びにつながる
ことだと思いました。そのような構成をなさっている教育出版を推薦させてい
たできます。

(教育長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいですか。

私も教育出版を推薦させていただきます。先ほど小川委員からもありました
が、相模川の浄水場のことも含めて、神奈川県内の地域が多く紹介されていて
非常に身近に感じられます。

また、5日ほど前に初任者研修会で寒川教育史について話された小笠原東
陽さんがつくった耕余塾が載っていました。そこで学んだ人が寒川小学校の初
代校長の皆川寛という方で、教科書には皆川寛は載っていませんが、そうやっ
て寒川につながっていくところが沢山あり、先生方が子どもたちにこういうつ
ながりを話すのに適しているのではないかと感じました。そういう意味で教育
出版を推薦いたします。

以上、お聞きいたしますと、今、教育出版がよいのではないかというご意見
が多いですが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

それでは、社会につきましては、寒川町では教育出版といたします。

続きまして、地図について審議を行います。検討委員会からは、帝国書院の
1社の推薦がございました。

それでは、ご意見をお願いいたします。小川委員、お願いします。

(小川委員)

帝国書院を推薦いたします。紙面が光りにくくて大変細かい地図が眺めやす
いです。そして、160万分の1の広く見渡せる地図があり、大体の地形を把
握した後に、その次のページでは100万分の1の地図が載せてあります。そ
こでさらに細かい情報が記されているということで、地形を理解してから細か
い情報の確認ができるという工夫が大変よいと思いました。

そして、寒川の子どもたちは中学生になると京都、奈良に修学旅行で行きま
すが、京都、奈良、またさらに大阪や東京など、5万分の1の地図があり、こ
れは旅行にも役立つガイドブック的な魅力のある地図でした。

そして、「地図マスターへの道」という大変面白い仕掛けがありまして、例
えば金沢から江戸まで参勤交代のルートを指でたどってみようとか、製油の記
号が海沿いに多い理由を説明してみましようなど、クイズ形式で地図から何が
読み取ることの楽しさというのが感じられ、そういったことで深い学びにつな
がると感じました。

私も見入ってしまったのが、東京の5万分の1の地図の次のページに江戸後期の5万分の1の地図が載せられていまして、そこに江戸時代の人々の生活の様子も書かれています。もちろん今の東京と江戸後期では海岸線の違いが示されていて、どうしてこの海岸線が違うのだろうかとかいう推測もできると思いますし、時代の流れを地図からも感じ取れるということは興味深い地図帳だと思いました。

そして、近年の自然災害の頻度を考えると、自然災害が起こりやすい地形や防災への取組についても分かっていたほうがよいと思いますので、その辺も紹介されていて、日本の自然災害と防災(1)、(2)のところでは防災に対する知識が高まることが期待される内容でした。

以上の点で、私は帝国書院を推薦させていただきます。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。大森委員、お願いします。

(大森委員)

東京書籍、帝国書院の2社を拝見させていただきました。私は帝国書院を推薦いたします。

東京書籍は情報量が多く、見ていますと面白く分かりやすいと思いました。が、どちらかというと、高学年、大人向けと感じました。

帝国書院におかれましては、ここは小川委員と意見が同じような感じになりますが、まず、紙質に光沢のない紙にしていることに驚きました。光沢紙を使用していますと光で反射してしまうことへの配慮がすばらしいと思いました。

あえて小学生に適した情報量を選び、見やすくして、クイズ形式で分かりやすく、地図帳に親しみを持たせようとしている感じも受けました。

個人的には江戸時代の5万分の1の掲載は面白いと感じました。

最終的には、最初に使用する子どもたちには帝国書院が見やすくてよく、高学年には東京書籍がよいと私は思います。今回は小学生主体なので、帝国書院を推薦いたします。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。布谷委員、お願いします。

(布谷委員)

私も帝国書院を推薦します。3年生になって初めて地図に触れる子どもがスムーズに地図帳を使えるように、生活科から社会科への移行の段階に配慮した導入があります。そこがよいと感じました。

また、先ほどから出ていますが、クイズ形式での働きかけが子どもたちの興味や関心を引き、学ぶ意欲につながると感じました。

文字の周りの色が薄く、文字や図が見やすいことや、山地などが1色でなく

地図に立体感を持たせていること、また、文字による情報だけでなく適度に絵や写真があり、分かりやすいこともよいと思います。さらに、歴史とのつながりも多く取扱いがあり、社会科でも活用できると感じました。

私でも紙面が見やすく、目に優しいところがとてもよいと思いました。
以上です。

(教育長)

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。山本委員。

(山本委員)

私も帝国書院を推薦します。初めて地図を手にする児童にとっての見やすさ、それから、地図の使い方の説明からスタートして、広く見渡した後に地方ごとに記すという段階を踏んで構成しているところ、それぞれのページに見出しをつけて紹介している導入の部分が作られていて、とても分かりやすいと感じました。

また、情報量が適度に絞られていて見やすく、非常に活用しやすい地図でした。資料として活用しやすいように、写真、イラストの入れ方も非常に見やすく、寒川町の児童に適していると思いました。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。

私も地図がシンプルですっきりしている帝国書院がよろしいのではないかと考えます。皆さんが、帝国書院を推薦していらっしゃるようです。地図につきましては、寒川町では帝国書院ということではよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

それでは、そのようにさせていただきたいと思います。

続きまして、次は算数についての審議に入りたいと思います。検討委員会からは、東京書籍、教育出版、新興出版啓林館の3社の推薦がございました。

それでは、ご意見をお願いしたいと思います。

小川委員、お願いします。

(小川委員)

算数は本当に迷いました。どの教科書も單元ごとに説明、問題、確かめ、復習という構成になっていて、体系的に学べるような工夫がされています。

また、学習要点やノウハウについては目につく表記にされていて確認しやすくなっています。

本当に選ぶのが難しかったのですが、まず、啓林館の教科書は、1年生の上

巻がB4サイズで字も絵も大きく見やすく、書き込みがしやすいので、算数の授業のスタートとして入りやすいかと感じます。そして、啓林館は、「たしかめよう」、「ふりかえろう」、「やってみよう」の構成で、確認、応用、復習を支援しています。学習上で大切だと感じたことを振り返らせ、列挙させることで頭の整理を促進していて大変よいと思いました。

もう一者、教育出版は、先ほどの帝国出版の地図と同じで、紙面が光らず、写真、絵、文字、色遣いなどデザインが見やすかったです。

そして、各章の冒頭に「どんな学習が始まるかな？」というページが設けられ、学習への興味をそそるような絵や写真があり、学習内容へいざなっています。これは導入としてその単元に大変入りやすいと思いました。

ノートの使い方の紹介や、よくある間違いの記載があることで学習の支援をしています。「自分で取り組むページ」にある問題の量も適切かと思いました。

「学びの手引き」のところでは垂直線の書き方、分度器の使い方、二等辺三角形の書き方など写真つきで分かりやすい説明がされていて、このようなことの習得は算数の理解、問題を解くためには重要な役割を果たすと感じました。

「広がる算数」のところでは、算数をより広く深い学びができるように工夫されていて、例えば6年生の266ページにあった「長針と短針が重なる時刻は？」というページでは、私も、部屋の壁にかかっていた時計を眺めて、そうか。長針は1分間に6度進んで、短針は1分間に0.5度だという、身近なものから考えるきっかけをもらって大変興味深いとしばらく考えていました。

5年生では、「素数って何?」、「考えようSDGs!」のところで食品ロスの問題を取り上げていました。

そういったところから、基本をしっかり学べて、かつ思考力、判断力、表現力が身につくのではないかという思いがしましたので、教育出版を推薦させていただきます。

(教育長)

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。山本委員。

(山本委員)

私も3社の教科書を読み直してみました。どの教科書もととてもよくて迷ってしまうところですが、教育出版は、2年生からの全ての単元で「はてな?」、「なるほど!」、「だったら!?’の学習の流れが子どもの問いの連続で進むようになっていて、また、単元の順番、配列がとてもよくできていて、体系的に児童が学習しやすいと感じました。

東京書籍は、目次で既習事項と本日の学習をつないで学習に向かうように進めているところ、今後の学習とのつながりといったものも示されていて参考になりました。

新興出版社啓林館もページのつくりがとてもシンプルで見やすく、例題が日常生活に関する部分と具体の部分が結びつきやすいと感じています。

その3社を見させていただいて、私は東京書籍を推薦します。

まず、単元の初めに「ますりん」というマークが出てきて、これからの学習の方向が示されているところ、また、1年生の上巻が書き込み式になっていて、しかもA4判で見やすいところ、それから、身近なものを題材に図、表、式が多く扱われているところ、そしてQRコードの活用を試してみました。こういった学習の仕上げといったものを使いながら、繰り返し学習で児童が取り組めるところ、巻末の「ふりかえりコーナー」も既習事項が分かりやすくまとめられていてよかったです。

このことから寒川町の児童の実態から考えると、内容量、1ページの中での説明の量といったものが適切で、基礎、基本を中心とした内容がメインになっているところ、問題の内容や分量が非常に適切でよいと感じました。

以上のことで東京書籍を推薦します。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。布谷委員。

(布谷委員)

どの教科書も学習指導要領を踏まえ、学びへの意欲が高まる工夫がされており、分かりやすく学習を進められるようにスモールステップになっているのがよいと思いました。その中で私は教育出版を推薦します。

2年生以上は「はてな?」、「なるほど!」、「だったら!?’という流れになっています。これは表面的な段取りだけでなく子どもが問いを持ち、その問いを学級全体で解決し、さらに新たな問いに向かうという問いの連続を大切にしているところがよいと思います。

また、お小遣い帳や試合観戦の入場券など身近なものを題材にした具体物が多いことや、図やイラストが見やすいことも児童の思考に効果的だと感じました。以上のことから、教育出版を推薦します。

(教育長)

ありがとうございました。

それでは、私も教育出版を推薦させていただきたいと思います。推薦のあった3社とも学習内容が体系的で非常に分かりやすく整理されているところが素晴らしいと思いました。

中でも教育出版がよいと思う理由がもう一つありまして、中学生になると図形のところで苦手な生徒が増えてきます。小学校段階で図形に面白く、興味が湧くような工夫がされている教科書が良いと考えています。そういう意味で、教育出版の教科書を推薦させていただきたいと思いました。まだ、大森委員の意見を聞いていませんでした。大森委員、お願いします。

(大森委員)

各社全てよかったのですが、私は教育出版を推薦いたします。

教育出版は算数の苦手な子どもでも学びやすい工夫がされていると思いました。余白の使い方、文字の大きさ、濃さが適切で、特性を持った児童にも使いやすいと感じました。

ここは布谷委員とも意見が同じなのですが、特にお小遣い帳や試合観戦の入場料など身近なものを題材とした具体が、児童の思考に結びついているのではと感じました。一人でも多くの子どもたちに算数を好きになってもらえそうな教育出版を推薦したいと思います。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。

教育出版がよろしいのではというお声が多いですが、いかがでしょうか。山本委員、よろしいですか。

(山本委員)

自分も本当に最初悩んだところで、今、推薦としては東京書籍を推薦しましたが、教育出版も先ほど言ったように、学習の流れが非常に分かりやすい教科書でありますので、皆さんの意見をいろいろ聞いてみると、なるほどと思うところもありました。教育出版を皆さんで推薦していただければよいと思っております。以上です。

(教育長)

ありがとうございます。

それでは、算数につきましては、寒川町は教育出版ということでよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

ありがとうございました。次に、理科についての審議を行いたいと思います。検討委員会からは、東京書籍、大日本図書、教育出版、この3社の推薦がございました。それでは、ご意見をお願いいたします。

山本委員、お願いします。

(山本委員)

理科も3社を検討委員会の中から推薦していただきました。どの教科書も前に使っている教科書よりも数段バージョンアップされていて、きれいに描かれているのに非常に驚きました。

まず、東京書籍は、各ページの左側に「問題をつかもう」から始まる問題解決の道筋を1本のラインでつなぐことによって学びの流れを分かりやすく示

されていて、見通しを持ちながら、そして、次に何をすることが明らかになっているところはとてもよかったと思いました。また、非常に写真を大きく扱っていて、インパクトがあると感じました。

大日本図書は「見つけよう」で学習の目当てを出して、「調べよう」で予想、計画を立て、調べ、観察、実験、記録の活用をしています。そして、「伝えよう」で考察やまとめなど、学習の流れが非常に分かりやすく使いやすいなと思いました。また、学習の過程の解決のために思考に沿って資料が予想できるように工夫されているところや、キャラクターのコメントも発想の参考になっています。問題解決の過程を省略せずに丁寧に書かれているところはとてもよかったと思いました。

教育出版も人の体の中の様子が6年生のところで出てきますが、非常にこれを大きな図を使って分かりやすく示されていたところがとてもアピールされていると感じました。教科書の中で見方や考え方につながる発言をしているところにカギのアイコン、あるいは「考え方のカギ」が示されているのが分かりやすいと思いました。また、単元の最後に発展的な観察、実験の内容があってよかったと思います。

その中で私は大日本図書を推薦します。例えば6年生の学習を例にとると、物の燃え方、光合成、人間の体、植物の呼吸という流れが、酸素と植物、人間との関わりという連続した思考に沿っているので、とても分かりやすいと感じました。

また、計画や考察のところで4人の児童が話し合うイラストが随所にあって、言語活動を高めることができるように考え方を伝え合う活動が学習ごとに設定されているところがよかったです。

また、実験計画の部分がしっかりと場合分けされていたり、実験の手順や目的、結果の図、あるいは表が出ていたり、実験方法がQRコードで示されているところが分かりやすいと思いました。

また、神奈川県の写真や資料がたくさんあるところ、総合的に大判化されたことによって写真や表現が分かりやすく、単元配置が優れている点といったものを考えて、寒川の児童には適している教科書だと思い、大日本図書を推薦します。

以上です。

(教育長)

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。大森委員。

(大森委員)

改めて3社とも拝見させていただき、全体的にイラスト、写真を使いながらの説明が各社とも良いと思いました。私は大日本図書を推薦いたします。

東京出版、大日本図書はシンプルで分かりやすい感じを受けました。具体的に話しますと、文字や写真が大きくて見やすく、分量が少なめで分かりやすく、

A B判より少し大きな判型で、資料写真が見やすく工夫されていると感じました。2社とも配列、内容が工夫されていると率直に感じました。実験方法がQRコードで示されているところも分かりやすく、よいと感じました。

大日本図書、教育出版は、観察、実験、結果、考察、結論が分かりやすいことや、巻末に一時的に情報がまとめられており、振り返りやすいと思いました。

結論といたしましては、各社ともすばらしく選考しにくい中でしたが、大日本図書は総合的に使用しやすく、分かりやすいだけでなく、キャラクターのコメントを用いて理科に興味を持たせようとしていることや、問題解決の過程を省略せずに掲載していますことから、大日本図書を推薦したいと思います。

(教育長)

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。小川委員。

(小川委員)

私も大日本図書を推薦させていただきます。大きな紙面で光らなくて、そこで人体の絵図ですとか、実験の方法などが大変見やすく読み取ることが簡単にできたのでよかったと思います。

「問題を見つける」から始まり、問題、予想、計画、実験、結果、考察、結論というふうに、実験のところが観察になるときもありますが、常にこういう思考で進められているところは、理科的な思考で問題を解決しようとする力が育つのではないかと思います。

「学んだことを生かそう」のところでは、学んだことを生かして深い学びにさらにつながっていけるところから、大日本図書を推薦させていただきます。

(教育長)

ありがとうございました。他には。布谷委員。

(布谷委員)

どの教科書を見ても課題や問題を解決するために考えたり、実験、観察をしたりしながら学んでいくことができるようになっていきます。また、デジタルコンテンツが豊富にそろえられていて、タブレット端末をはじめとするICT機器を有効的に使いながら、学習を進められるような仕掛けがたくさんあります。

その中で私も大日本図書を推薦します。教科書がA4判で、それを最大限に生かして児童の興味・関心や疑問を引き出すよう、ページの使い方を工夫しています。また、写真が多く掲載されていて、子どもたちの理解を支援していると思いました。

さらに、学習したことを他の教科や他の分野につなげて考えるページ、例えば防災に結びつけるページやサイエンスワールド、SDGs、科学館・博物館に行ってみようなどのページです。これらにより理科の見方を働かせて、生活

や環境を考える場面が設定されるところがよいです。子どもの思いや願いを大切にしつつ、しっかり学べると感じました。以上です。

(教育長)

ありがとうございます。

私も大日本図書を推薦させていただきます。理科で大切にしたいことは実験や観察です。実験、観察が分かりやすく紹介されているかという視点で見えますと、この推薦のあった3社とも、非常によくそれができていると思いました。

その中でも大日本図書は、家庭にある身近なものを使った実験、観察が多く、子どもたちの興味・関心が湧くような構成になっているというところがよいのではないかと思います。私は大日本図書を推薦させていただきます。

こうしてみますと、今、理科につきましては、皆さん、大日本図書がよろしいのではということですが、理科につきましては、寒川町では大日本図書ということでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。

それでは、時間も1時間ほど過ぎておりますので、ここで暫時休憩とさせていただきます。再開は2時40分から再開ということにしたいと思います。では、よろしくお願いいたします。

(休 憩)

(教育長)

それでは、休憩を解いて会議を再開させていただきます。

生活についての審議を行いたいと思います。検討委員会からは、教育出版と光村図書出版の2社の推薦がございました。ご意見をお願いいたします。

山本委員、お願いします。

(山本委員)

生活ですが、2社で、こちらもとても迷いました。

まず、教育出版は、「わくわくスイッチ」で単元がスタートし、学習の方向性を見つけやすく感じました。児童が親しみを持って学習に進めるように、絵本のキャラクター「いぐら」が、気づきやつぶやきを発して、児童が親しみを持って学習できると思いました。モグラの「はっけんロード」では、「ぐんぐんはしご」で試す、振り返る工夫がされていて、気づく、考える、自分でできる、伝える、自信を持つの流れになっていて、ヒントやクイズなどがあってと

てもよかったと思います。生活科は、1年生、2年生という低学年で、どのように学ぶか、こういったものを考えるときにはとてもよいのではないかと思います。

光村図書出版は、随所に「ふりかえろう」を設定し、次につなぐ工夫がなされています。主体的な学びを支えるための資料が豊富で、巻末には、上巻では「きせつのなかまたち」が添付され、上下巻では「ひろがるせいかつ」、こういった図鑑が別冊になっていて使いやすかったです。見開きの冒頭も、学びの見通しが持てるように、活動内容を具体的に示してあるところも良かったです。それぞれの単元の目標を左側に統一して示すことで、学習を見通す工夫がされていました。

その中で、私は、生活科は光村図書出版を推薦します。目を引くイラストが多く写真も多いことから、児童の興味を引きやすかったです。個性を生かしやすく、自らやりたいと思うような主体的な学びを深めることができる構成になっていて、また大判で見やすいのもポイントで、寒川町の児童には合っていると思いました。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。布谷委員。

(布谷委員)

正直言って、私も大変迷いました。

教育出版は、生活科で学ぶ内容が見える工夫がされています。例えば、学習のめあてが把握できるように、次の学習で身につける資質・能力について、見開きページの左上のさいころの形の中に示されています。また、動機づけから振り返りまでの流れをイメージできるように、単元の学習が「わくわくスイッチ」、「はっけんロード」、「ぐんぐんはしご」で構成されています。振り返り活動、自己評価を促すこと、学びを広げる工夫もされています。

以上のように、様々な観点で生活科の学びを充実したものにする緻密な仕掛けがありました。これは、児童にとってだけでなく、教える先生たちにとっても、とてもよい教科書であると思いました。

一方、光村図書出版は、絵本作家のイラストと言葉から、子どもの気づきの質を高めるのに効果的であると思います。イラストには、子ども一人一人の考え方の多様性を尊重し、自分に自信を持って生きていけるように、子どもの成長をサポートしていることがうかがえます。温かさを感じました。また、学習の一連の流れについて、学びのポイントが見えるように誌面の構成がされているのもよかったと思います。

どちらの教科書もそれぞれよいところがたくさんあってとても迷いましたが、子どもたちにとっても先生にとっても、より使いやすいと感じた教育出版を私は推薦します。

(教育長)

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。小川委員。

(小川委員)

どちらの教科書も本当に見やすく作られていましたが、昔、小学校のグラウンドにいろいろな木の実が落ちていて、それが何の実か子どもと一緒に考えたことがあります。光村図書の巻末に、山本委員がおっしゃったような、持ち運べる資料として、汚れに強くて地厚で、外に持って行って観察したときに、何の実か調べられる、そういったものがあると、春の仲間、秋の仲間、それぞれの季節で、自分の家の周りや学校の校庭などで観察が楽しくなるのではないかと、生活に結びついて学習活動を充実させることができるという点で、光村図書を推薦させていただきます。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。大森委員。

(大森委員)

私は教育出版を推薦いたします。

教育出版は、単元の区別が分かりやすく、学習のめあても分かりやすいと思いました。子どもが親しみを持って学習を進められるよう、絵本のキャラクターを採用し、学習しやすいよう、例示が多く記載されている点から、教育出版を推薦いたします。

(教育長)

ありがとうございました。どちらも2人ずつの推薦になりました。責任重大ですが、私は光村図書出版を推薦させていただきます。

理由は、先ほどお二人の方から、野外で使うときに使いやすい仕様になっているとか汚れにくいということが大きいです。低学年の子どもたちが、実際に持ち運びしながら使うと、汚れたとかがあって、普通の仕様だと少し使いづらいと思います。そういった意味で、光村図書出版の仕様の方がよいというのと、子どもからは、生物の話が出てきて、結構子ども達が好きなダンゴムシのことをよく紹介されているのは光村図書出版でした。まだ他にも理由がありますが、寒川の子どもたちに適しているのではないかなと思い、私は光村図書を推薦させていただきます。生活について、他にこの場でご意見はいかがでしょう。よろしいですか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

では、生活科は、寒川では光村図書出版ということでお願いいたします。あ

りがとうございました。

それでは、続いて、音楽についてご審議をお願いいたします。検討委員会からは、教育出版と教育芸術社の2社の推薦ございました。

それでは、ご意見をお願いいたします。小川委員、お願いします。

(小川委員)

音楽のどちらの教科書も、1年生のスタートの段階では、音楽を聴いて自由に体を動かすといったリトミックの要素からスタートしています。体で音のイメージを感じ取れるので、体、心の解放、感受性を高めるという点で、よい構成をされていると感じました。

幼稚園や保育園で親しんできた音楽を、今度は学習として音声やリズムなどを学んでいくときに、初めの一步にすることは、とても大切でありまして、教える側にとっては一番難しさを感じるところです。その辺で、どちらの出版社も大変工夫されています。

教育芸術社の教科書は、3年生の教科書からは、表紙をめくると演奏家の写真やその人の言葉があり、プロの演奏家を身近に感じられる点がよいと思いました。

そして、教育出版は、例えば3年生の教科書に富士山の曲が載っているのですが、寒川町は、天気がよいときは富士山がとてもきれいに見えるところに位置しているのですが、富士山の雄大さが分かる写真が広がる紙面で大きく出ていまして、そこにただ「日本一」と歌うだけではなくて、3,776メートルと記されていて、湖に映っている富士山の写真や、朝日に照らされた赤富士、200年前の葛飾北斎の富士山の絵もあり、富士山の表情がいろいろ載せられています。こうやって1つの曲を歌うにしても、様々な富士山の表情から感性を感じ取りながら歌うというのは、芸術の教科にとって大切なことだと思います。

それから、おなじみの英語の曲があるんですが、きちんと英語で歌詞が書いてあり、そこに仮名が振ってあります。寒川の学校には、各学校、小中学校全てにFLT、外国人指導者の方が入っているので、ぜひ一緒に歌詞を読みながら英語の歌を歌って楽しんでもらいたいという思いもあります。

巻末になりますが、1年生から6年生の教科書までで一貫して、同じ曲を各学年のレベルに合わせて編曲してある楽譜が載っています。1年生は1年生のレベルで、そして6年生は6年生のレベルに合わせて楽譜があるのですが、それを全員で、1年生から6年生まで全校で演奏していただきたいという希望があります。音が大変分厚く、迫力があります。そして、低学年は、高学年の皆さんが同じ曲でもこんなに上手に演奏するのだといった憧れの気持ちも育むことができると思いました。

そして、6年生になると、中学校に行くと音楽もテストがあると思うんですが、6年生のときに、音符、休符、記号、リコーダーの指使いなど、開いて広がる紙面で、楽典などがとても分かりやすい表がついています。そして、音符

の書き方を案外指導されないのですが、きちんと玉、棒、旗というふうに分かりやすく書かれている点で、教育出版社を推薦させていただきます。

(教育長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。大森委員。

(大森委員)

私は、教育出版、教育芸術社ともにすばらしく、最後まで悩みましたが、私は教育芸術社を推薦いたします。

2社ともに各ページの内容、分量、表記等が適切であり、構成がすっきりしていて児童も分かりやすいと思いました。教科書を読んでいますと、子どもの視点を大切に、音楽を楽しませようと、工夫がうかがえました。

教育出版は、感性を高める観点から、子どもたちの意欲を引き出す写真等が多く用いられており、富士山の写真を大きく掲載して、子どもたちのイメージを大切にしていることがうかがえます。特に感激いたしましたのは、リコーダーの使い方の写真、説明が分かりやすかったと思います。

教育芸術社は、伝統的な音楽が多く掲載されており、親しみながら学習が進められることや、地域に伝わる音楽で神奈川県に伝わる音楽が採用されている点から、私は教育芸術社を推薦いたします。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。布谷委員。

(布谷委員)

どちらの教科書も、子どもたちが意欲を持って楽しみながら、音楽の学習が進められるような工夫がたくさんありました。その中で、私は教育出版を推薦します。

子どもの意欲を引き出す写真等が多く使われており、「日本の歌みんなの歌」のページでは、折り畳んである紙面を開いて見るようになっており、開いたときのインパクトがあります。それを開いてみたときの子どもたちと先生の生き生きとしたやり取りが想像され、よく工夫されていると思いました。

また、各ページの構成がすっきりしていて視覚的に捉えやすいページが多く、児童も分かりやすそうに思います。例えば、先ほど来出ていますけれども、リコーダーの指使いや手遊び、合奏など、実際に行っているときの写真も載っているのがよいと思います。また、載っている曲も子どもたちになじみのある曲が多く、関心を引きやすいと思いました。以上です。

(教育長)

ありがとうございます。他には。山本委員。

(山本委員)

私も教育出版と教育芸術社、甲乙つけ難いところで、歌、楽器、音楽づくり、共通教材なども、どちらも適度によかったと思います。

教育出版は、先ほどからリコーダーの部分が出ていますが、特に写真で、吹いている自分のところの目から見た指使い、これが右手と左手がどういうふうな形であるのか、これは子どもにとっても、自分から見ての目線ですので、非常に見やすいと思いました。また、文字や音符が比較的大きく表記されていて、写真や絵が適度な大きさで、見やすく扱われていました。

教育芸術社も、学習活動でどのように学ぶかが示されているところがよいと思いました。題材名、学習目標だけでなく、具体的な活動が示されていて、児童が楽譜や歌詞ばかりでなくて、自分たちの学習を自分たちで考え、相談しながら進めていくことができると思う教科書でした。

その中で、私は教育出版を推薦します。新しい曲や資料を取り入れて、児童にとってなじみのある曲や英語の曲などが入っています。低学年から楽器の紹介により、いろいろな楽器が親しめるように工夫されていました。手遊びや合奏、あるいは伝統的な行事など、実際の写真で説明されていて、ここも児童にとっては分かりやすいと思いました。各ページの構成がすっきりしていて、内容、分量、表記などが適切で、視覚的にも捉えやすく、児童も分かりやすいので、寒川町の実態に合っていると思いましたので、教育出版を推薦します。

(教育長)

ありがとうございました。私も教育出版を推薦させていただきます。

両方どちらも見やすく、表記が分かりやすく、興味を覚える教科書の出来なのですが、寒川の地域のお祭りなどに行ってみると、いろいろな祭りばやしがあります。倉見から始まって、田端のほうまでたくさんある祭りばやしについて、教科書に載っている方はどちらか見ると、教育出版でした。非常に楽しそうに写真が紹介されていて、親しみのある感じを受けました。伝統文化の紹介も多く、寒川の子どもたちに適しているのではないかと思います。こちらを推薦させていただきますと思います。

教育出版の方でどうかというご意見が多いのですが、大森委員いかがでしょうか。

(大森委員)

私も教育出版と直前まで悩みましたので、皆さんのお話を伺って納得しました。教育出版でお願いします。

(教育長)

どうもありがとうございます。それでは、音楽につきましては、寒川町では教育出版ということよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

そのようにさせていただきます。続いて、図画工作について審議をお願いいたします。検討委員会は、開隆堂出版1社の推薦がございました。

それでは、ご意見をよろしくお願いいたします。布谷委員。

(布谷委員)

どの教科書もカラフルで楽しい活動の様子がたくさん紹介され、子どもたちがやってみたくなる工夫もたくさんありました。その中で開隆堂を推薦する理由ですが、表紙の作品もインパクトがあり、その作品の説明が裏表紙にあるのがよいと思いました。また、各学年の教科書に子どもたちの思いを表した題名がついていて、次のページにうまくつながっているところも工夫されていると思いました。

図画工作の学習を通して育つ3つの力をキャラクターで表し、題材の内容や使用するものなどが一目で分かるようになっていっているところもよいです。そして、各ページに「タブレットたんまつで見てみよう」が設けられていて、2次元コード活用が充実しています。さらに、「かたづけ」、「ふりかえり」、「あわせて学ぼう」、「参考」など、マークをつけて示されているので、学習を進める上で誰にでも分かりやすい工夫がなされていると思いました。

終わりになりますが、日本文教出版の方は、好奇心を引き出すために写真は実際の授業を取材したということですが、そこら辺が子どもたちにとってよりよい教科書を作りたいという熱い思いを感じました。

(教育長)

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。小川委員。

(小川委員)

どちらの教科書も、視覚や皮膚感覚だけではなく、心の成長や感受性を表現する手法が満載で、見ている私もこんな手法で表現してみたいなと創作意欲をかき立てられるような内容でした。

日本文教出版は、「言葉から思いを広げて」とか「笑顔が生まれるしかけ」、「ふれて伝えるストーリー」など、單元ごとの意図が分かりやすいと思いました。

掲載されている作品が私には伸び伸びとした作品が多いと感じられました。明るく楽しく、情景が伝わる作品でした。個人的には好きな作品が多かったです。その作品に対して作者がどのような思いで作品を創り上げたのかということが、吹き出しになって言葉が添えられているので、作者の思いを感じながら鑑賞すると、また違った見方ができて、すばらしい教科書だと思いました。

そして、開隆堂出版は、先ほど布谷委員がおっしゃったように、準備する道

具が左のページ上に絵とともに記されていて、枠の使い方が大変見やすかったです。そして、右下にある片づけのチェックも見やすくよいと思いました。どんな変化を楽しんだのか、感じたのかなどの振り返りの言葉だけではなく、深く感じるきっかけになると思いました。

6冊の教科書それぞれに違ったタイトルがありまして、「みつけたよ」とか「力を合わせて」とか「つながる思い」とか、教科書ごとにタイトルが違っていました。6年間を通して児童の成長に寄り添った構成となっているのだと思います。

一番私がよいと思ったのは、5・6年生の下の教科書にあるのですが、「見て感じてわたしの表現に」というところです。芸術家の表現の気に入ったところを取り入れて、自分らしく自分の絵に表そうというところなのですが、例えばモネの点描をまねして自分の絵を作ってみたり、ダリの世界観、ゆがんだ世界を描いてみようとした作品が載せられていたり、芸術家の表現のよさを取り入れて自分の作品を作ってみようというところがよいと思いました。芸術系の上達の一つには、取り入れてみる、まねしてみるというのが非常に大きな成長になります。新たな自分の表現に挑戦すること、そういったところがわくわくする作業なので、私は今回、開隆堂出版を推薦したいと思います。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。山本委員。

(山本委員)

開隆堂を推薦します。作品が非常に多く示されていて、児童がアイデアを出すときにとても参考になるような教科書でした。造形的な見方、考え方の資料として、「小さな美術館」や「みんなのギャラリー」など、児童が多くの作品に触れられるようになっている、また、多様な造形物や美術作品が掲載されているという点では、自分の作品と比較しながら取り組めるように工夫されているところがよかったと思います。全体的に視覚に訴える構成になっていて、取り組みやすさも、寒川町の児童の実態に合っているかと思いました。以上です。

(教育長)

ありがとうございます。大森委員。

(大森委員)

私は開隆堂を推薦いたします。

開隆堂は、絵や写真がシンプルで見やすく、情報量も適度で、必要な道具の表記が分かりやすいと思いました。その中でも、児童に興味・関心を引きつける内容が多く、全てのページに2次元コードがついており、タブレットを使った活動ができるように、「タブレットたんまつを使おう」というページが掲載されています。これからの時代、教育に沿った構成かと思いました。特に、図

工の原点でもあるわくわく感が多く、わくわく感満載の点から、私は開隆堂を推薦いたします。

(教育長)

ありがとうございました。

私も、楽しそう、やってみたいという気持ちになる題材が多く紹介されていた開隆堂出版を推薦したいと思います。

以上、図画工作は、5名とも開隆堂出版ということでよいという意見を伺いましたので、図画工作につきましては、寒川町では開隆堂出版ということでよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

では、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

続いて、家庭について審議をお願いいたします。検討委員会からは、東京書籍と開隆堂出版の2社の推薦がございました。

それでは、ご意見をお伺いしたいと思います。布谷委員。

(布谷委員)

どちらの教科書も、5・6年生で分けることなく1冊になっていて、使いやすかったです。そして、初めて家庭科を学ぶ子どもたちが不安感なく意欲的に学び、実習できるように、丁寧に学習の流れがつくられています。

その中で、私は開隆堂出版を推薦します。学習の初めに生活の見方・考え方の4つの視点、協力、生活文化、健康・快適・安全、持続可能な社会がクローバーマークで表されているので、自分たちの生活の様子が一目で分かるところがよいと思います。

文字の量が多過ぎず情報量が適切で、絵や写真なども分かりやすいように配置されています。特に、調理や製作のページでは、見開きで横流れの配置になっているので、手順が見やすく実習中も確認しやすいです。また、動画の2次元コードでやり方をすぐ見ることができるので、文章や絵だけでなく、動きを確認しながら学習できるように工夫されています。

また、单元ごとにスリーステップで問題解決学習が展開できるようになっているのもよいです。特に、最初になぜと問いかけ、考えさせてから内容に入っていく構成は重要なことだと思いました。課題に向き合うヒントになるよう、SDGs、防災、プログラミング、キャリア教育など、多様な視点を関連づけています。特に、キャリアインタビューは社会とのつながりが意識できる資料だと思いました。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。大森委員。

(大森委員)

2社拝見させていただき、私は開隆堂出版を推薦したいと思います。

まず初めに、とにかく見やすいと率直に思いました。写真、イラスト等の大きさやバランスもよく、例えば整理・整頓では、一目で分かるような掲載の仕方や、調理、包丁の使い方など、写真の大きさや写真の角度もすばらしいの一言でした。とにかくまとまっていて分かりやすい上に、「できたかな」のチェック項目が要所要所に設けられていて感激いたしました。私は開隆堂出版を推薦したいと思います。

(教育長)

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。山本委員。

(山本委員)

家庭は、東京書籍は、生活の課題を解決する能力を養うために、課題発見、課題解決・実践活動、評価・改善のスリーステップで構成されているところが、分かりやすくとても良かったです。思考力の伸長や、あるいは知識や技能の定着のためにデジタルコンテンツが多数用意されて工夫されているということが分かりました。

ただ、私は今回、開隆堂を推薦します。学習の内容に関する職業のキャリアインタビューなど、各分野で活動を進めている方のコメントなどが社会に関わる力につながっていて、とても興味深く学習することができるようだと思います。また、食物アレルギーや各單元についての豆知識、身近なものを通した教材の配置が、非常に配慮があってよいと感じました。多様性を認め合いながら共に生きていくことへの理解を促すために、様々なキャラクターが用いられていることも非常に見やすいと思いました。生活を振り返る4つの視点がマークとともに表示されて、課題解決を意識するように構成されているのが寒川町の児童に合っていると思い、開隆堂を推薦します。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。小川委員。

(小川委員)

私も開隆堂を推薦したいと思います。

裁縫の製作の説明に関してですが、布の縦の方向、縫い代の幅、裁断、まち針の打ち方、脇の縫い方など、図が大きく描かれていて、色の使い方の工夫もあって大変理解しやすいです。実は私、学校に行っている頃、手が遅くて時間内に終わらず、宿題としてよく持って帰っていたのですが、家で自分でやるときも、教科書を開いて自分で読み取れるという図が分かりやすいのは、大変助

けになると思います。

そして、裏表紙になりますが、一々物差しを出してこなくても、1センチ、2センチって刻んであり、ちょっとした長さだったら教科書の後ろで測れるようになっています。そこも便利ですし、また調理のことでは、先ほど布谷委員が、横並びになっていて調理の手順が分かりやすいというご意見がありましたから、野菜の切り方や、そういったところの表示が分かりやすいと思いました。

生活に必要な知識・技能の習得という点で、大変学習しやすい教科書だと思いますので、開隆堂を推薦いたします。

(教育長)

ありがとうございました。

私も開隆堂を推薦したいと思います。

本当にどちらの教科書も作り方とか使い方などが分かりやすくできているなと思いました。家庭科の教科書は、作業中に見ることがあり、そういう場面場面で、写真が大きくなったり、写真がたくさんあったり、字も若干大きめになっていたり、非常に見やすい工夫がされていたのは開隆堂の教科書だと思いましたので、推薦をさせていただきます。

皆さん、開隆堂出版を推薦されました。家庭科につきましては、寒川では開隆堂出版ということによろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

では、それではよろしくお願いいたします。

それでは、続いて、保健についての審議に入ります。検討委員会からは、東京書籍、大日本図書、光文書院、Gakkenの4社の推薦がございました。

それでは、ご意見をお伺いしたいと思います。布谷委員。

(布谷委員)

どの教科書も最新の情報を的確に伝え、子どもたちが問題意識を持って学習できるように工夫されていると思います。また、写真やイラストにより、視覚的にも理解しやすくなっています。

その中で、私は東京書籍を推薦します。3・4年生の教科書の表紙を開くと、「ほけんの学習を始めよう」と大きな文字で書かれており、それが「ゆめをかなえる、たしかな力」になるとシンプルな言葉と写真で表現され、学習意欲を引き出すのに効果的であると思います。また、学習の進め方もステップ1から4の構成で分かりやすいです。特に各章の終わりにある資料は、学習を広げたり深めたりするのにとても有効だと思います。子どもたちが自分らしさを大切にし、自己肯定感を育むことや、これから生きていく上での自信につながるであろうと思われる内容もありました。子どもたちの成長に寄り添っていくとい

う思いを強く感じられました。以上のことから、東京書籍を推薦します。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。大森委員。

(大森委員)

各社すばらしく、分かりやすくイラストや写真等が工夫されていると思いますが、その中から光文書院を推薦したいと思います。

大日本図書、光文書院、東京書籍、Gakkenとも、児童が親しみやすいイラストと写真を必要なところで使い、バランスがよいと思いました。

東京書籍は、主体的に学習することができるように、ステップ1から4の構成で分かりやすく、実生活の場面の資料が多く掲載され、学習したことを生かすように工夫されていると思いました。

大日本図書は、単元の流れが整理され見通しが分かりやすく、「つかもう」、「調べよう」、「話し合おう」など、やることなどが分かりやすく構成されていると思いました。

Gakkenは、「3つのピース」として学習の流れが示されていて、単元に合った進め方の構成になっていました。直接教科書に記入することによって教科書に学習履歴が残るようになっていたことは、個人的にすばらしいと思います。

光文書院は、章ごとの扉に漫画があり、子どもたちの興味を引きつける工夫や、喫煙や薬物濫用の害、がんの病気を分ける等の工夫がされ、分かりやすく説明されていました。表紙のイラストも子どもたちに興味を持たせるように森川泉さんを採用しているなど、多岐にわたり工夫されていると思いました。特に、5・6年に掲載されております「感染症に関する差別をなくそう」は分かりやすく、これからの時代にとっても大切なことを掲載していると思いました。結論といたしますと、私は光文書院を推薦したいと思います。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。山本委員。

(山本委員)

東京書籍は、主体的に学習するステップ、これが1から4まで構成されているのが分かりやすくて良かったです。新型コロナウイルス感染症などについての記載やSDGs、あるいは心身の健康、環境、こういったものが載っていることは、これからの保健では大切だと思いました。

それから、大日本図書につきましては、同じようにSDGs、新型コロナウイルス感染症の情報が入っていて、昨今の情報を取り上げているのはとても新しくてよいと思いました。また、関連する資料ページが項目ごとに記載されていてよかったと思います。数字だけでなく非常に見やすいイラスト、こういっ

たものに工夫があり、印象的に思いました。

それから、光文書院は、情報量をととても絞り込んでいて、章ごとに漫画などがある子どもの興味を引きつけるところ、これはよかったと思っています。また、各界のアスリート、アーティストの健康論や表彰といったものの記載されている人気の本なども取り上げていたりして、子どもの興味・関心を引くと思いました。

Gakkenは、先ほどありましたように、単元の始まりが「3つのピース」として学習の流れが視覚的に示されているところがよかったと思います。

以上のことから、私は東京書籍を推薦します。児童が主体的に学びにつながるように構成され、理解しやすいような配慮がされていて、学習のステップが非常に分かりやすいと感じました。児童の取り組みやすいように工夫された、寒川の児童には合っていると思ったので推薦します。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。小川委員。

(小川委員)

私は、東京書籍を推薦したいと思います。

まず、学習の課題というのが大きく見やすい文字で示されていて、その後にステップごとに「調べる・解決する」、「深める・伝える」、「まとめる・生かす」など、直接教科書に書き込むことで、理解したことを整理して進めることができるのでいいと思いました。シンプルな作りなのですが、それが暮らしの中で資料としても活用できるのではないかという思いがあります。また、多様性のある表紙の絵も明るくて好感が持てる点です。

以上の理由で、東京書籍を推薦いたします。

(教育長)

ありがとうございました。

私も東京書籍の教科書を推薦させていただきます。

ここに名前が挙がった4社の教科書、どこをとっても様々な工夫がされていて、よいと思う部分がたくさんありました。特に、東京書籍では、手の洗い方の図があるとか、自転車に乗る子の交通事故への注意喚起の図が入っていました。ほかのところと比べると、急に自転車で飛び出すことが危ないと思うような図が載っているなど、寒川の子どもたちが自分事として捉えやすい表現が多かったのが東京書籍だと思いました。そういう意味で、推薦いたします。

これまでの意見は、東京書籍が多いのですが、大森委員、いかがでしょうか。

(大森委員)

私も東京書籍と悩んでいたものですから、今お話を伺っていて同意見のことがたくさんありましたので、東京書籍でお願いいたします。

(教育長)

それでは、保健は、寒川町では東京書籍ということではよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。それでは、外国語の審議を行いたいと思います。検討委員会からは、三省堂、光村図書出版、この2社の推薦がございました。ご意見をお願いいたします。山本委員。

(山本委員)

外国語は、これからもいろいろなところで使われることが多いことから、「話す」というところを重点に置く教科書は何かというところで考えさせてもらいました。

まず、三省堂は、各レッスンの最初に見開きのイラストもあり、内容が多過ぎることなく、余裕を持って指導することができる分量と、表現方法が分かりやすい構成であると感じました。「読む、聞く、書く、話す」の技能が散りばめられていて進めやすいと感じました。

光村図書出版は、身近な題材や行事を取り入れられていて、児童が主体的に学習に取り組みやすく、またユニットごとに児童が自分自身の話したいことを思い描くことができるように工夫されています。別冊で単語帳が附属しているので、書いて表現する際に活用しやすいと感じました。

実際の英語を使った場面が多く出てきて、またたくさんの会話の例がありおコミュニケーションの充実が図られていると思います。基本表現の復習ということが大事ですが、これができるように工夫されていて、話す、聞くの大切な場面が分かりやすく、何の活動なのかがアイコンで示されているのもいいと思いました。

以上の結果、光村図書出版を推薦します。

今出したものの他に、世界の文化、挨拶、お祭り、職業など、いろいろな視点から国際理解を深められるようになっている教科書だと感じました。日本と海外のつながりが、児童に親しみあるキャラクターや有名人の写真などが出ていることで、意欲的に授業に取り組む工夫がなされています。また、比較的話すことを中心としていて、外国にまずは興味・関心を持つことを考えられる教科書だと感じました。

自分の経験ですが、あまりにも書くことを先に進めていくと、子どもたちの英語嫌いが生まれるように感じます。そういった意味では、話すことを中心とした教科書が光村図書ではないかと感じました。

様々な場面のバランスのよい配置、見やすいイラスト、親しみながら授業を進められる点、また、登場人物も多様性があって様々な外国につながる、児童

にとって親しみやすい、寒川町の子どもたちにとっては合っていると思いますので、光村図書出版を推薦します。

(教育長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。布谷委員。

(布谷委員)

どの教科書も3・4年生の外国語活動と中学校での学習との接続を考えて、コミュニケーションを図るための基礎となる資質や能力を身につけられるように工夫されています。その中で、光村図書出版を推薦します。

教科書のサイズが小さめで扱いやすく、学びやすいと感じました。各学年全体で8つのユニットと3つのまとめになっています。各ユニットの導入には、小学生のキャラクターたちが繰り広げるストーリーアニメが設けられ、イラストや写真も大きく、色彩がきれいで楽しく学べると思います。ユニットは、「Hop!」、「Step」、「Jump!」の3つで構成されて、ストーリーを中心にまとまりごとのテーマに沿ってつくられています。ユニットの終わりには、「ふりかえろう」というコーナーで領域ごとに自己評価し、巻末の「All About Me」に書き込めるようになっていきます。このゴールまでの流れが見えるような構成がよいと思います。

また、互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動の充実も図られています。さらに、本体から取り外して使える「Picture Dictionary」は、各ユニットで使える語句が精選されており、適当な分量で使いやすかったです。コンパクトなサイズの中に様々な視点から英語の力を育む要素が詰まっている教科書だと思います。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。小川委員。

(小川委員)

私も光村図書を推薦させていただきます。

寒川町の小中学校全8校全てにFLTが配置されています。外国語の授業時間だけでなく、学校の生活の中、あらゆる場面で外国人指導者の方と言葉を交わすチャンスというのがあります。そのようなチャンスを生かして、英語でのコミュニケーション力を最大限に上達させていただきたいと願っています。

そういった意味では、先ほど山本委員が、話すことを中心とした教科書とおっしゃっていましたが、私もその意見と同じです。例えば、心が通う受け答えのところでは、会話をスムーズに運ばせるときに大切な、ちょっとしたレスポンスの使い方が掲載されています。「Good luck」とか「Let me see」とか「Sure」とか、こういったちょっとした言葉、こういうときに使うのだということを知っていると、割と生きた会話が成立します。聞き取ることはできても、

それに対してレスポンスで長く答えることがなかなかできない。ですので会話が難しくなってしまうと、ちょっとしたヒントの言葉を知っていると会話が怖くなくなるのではないかと思います。

また、心をつなぐ言葉のところでは、例えば親切にしてもらったときはこういうふうに言うといい、相手の話に感動したときはこうやって返すといい、友人が転んだときはこんなふうに言葉をかけるといいというような、言葉のチョイスも学べる点もよいと思いました。

そういった意味で、日常で使える英語が学べる構成になっているところ、寒川町のFLTがいる学校の子どもたちには特に使用してもらいたい教科書だと思ったことが理由です。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。他には。大森委員。

(大森委員)

私は、光村図書出版を推薦いたします。

光村図書出版、三省堂は別冊で単語帳が附属しているので、取扱いが容易に感じられ、挿絵なども利用されていて、英語が苦手な児童にも興味を引くような工夫が箇所箇所に感じられました。その中でも、2社ともすばらしいのですが、光村図書出版は1ページに配置されている内容量や字の大きさ、太さにおいても見やすく、適切であると思いました。

結論といたしましては、外国語に興味を持たせてくれそうな光村図書出版を推薦いたします。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。

私も光村図書出版を推薦させていただきます。

聞く、読む、書く、話すのバランスがよく、寒川の子どもたちにとって適していると思いますが、特に小学生の子どもたちにとっては、楽しそうに英語を学ぶ、話す、そういう場面が多い題材がよいと思っています。そういう意味で、光村図書の教科書が一番楽しそうに見えました。また、他の出版社にありましたが、この教科書はQRコードが多く、学習者に必要な音声映像などもたくさんあり、寒川の子たちにも適しているのではないかと思います。そういう理由で光村図書を推薦させていただきます。

全員が光村図書がよろしいのではというお声なんです、他にご意見、特にございますか。よろしいですか。

ございませんようでしたら、外国語につきましては、寒川町では光村図書出版ということですのでよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

では、そのようにさせていただきたいと思います。

それでは、最後になりますが、特別の教科道徳について審議を行いたいと思います。検討委員会からは、光村図書出版、日本文教出版、光文書院、Gakkenの4社の推薦がございました。

それでは、ご意見を伺わせていただきたいと思います。小川委員。

(小川委員)

どの出版社の教科書も單元ごとの考えを深めるための問いかけがあったり、思いを書き込んだりと、授業に積極的に参加する工夫がありました。また、教科を横断して視野を広げる工夫も面白いと思いました。

その中で、光村図書を推薦したいと思います。自分を知ることだけでなく、人とのコミュニケーションの取り方というものも具体的に示している点が良いと思いました。例えば、各学年に「みんなで気持ちよく話し合うためのコツ」というのがありまして、友達の話は最後まで聞こうとか、まず、あいうえおで答えよう。これは「ああ」とか「いいね」、「うんうん」、「へえー」、「おお」というリアクションなのですが、こういうふうになんかちょっとしたコツを教えてもらえると、会話が苦手、人としゃべるのが苦手だという子も、これを使って積極的なお話ができるのではないかと思います。少し余談で面白い話があり、サラリーマンの方が「ほう」、「なるほど」、「すごいですね」という3つの言葉を使うと、大概商談が前に進むなんて言葉を聞いたことがあります。大人も、そういうちょっとしたヒントがあると、会話が非常に進めやすいと思いました。コミュニケーションというか、苦手意識がある子に寄り添った教科書だと思いました。

そして、とても私が感動したのは、ヨシタケシンスケさんの「なんだろうなんだろう」というコーナーです。例えば、自分って何だろうって問いかけをして、そこで主人公がこうかな、ああかなと思いを巡らします。結論がなかなか出なくて、結局最後は自分って何だろうで終わります。同じように、友達って何だろう、こうかな、こういうのも友達かな、こういうところが友達かな、でも結局、これといった回答が出なくて、最後はやっぱり友達って何だろうで終わるのです。うそって何だろうもそうなんです。

こういうことって、大人の私でもまだ、友達って何だろう、うそって何だろうって思いを巡らすことがあり、これが解答だよ、これが正解だよということではなく、ずっと考えを巡らせながら心の成長をしてもらいたいというような思いがあります。そういうところで、大変子どもたちの心に寄り添う教科書だと思いますので、光村図書を推薦させていただきたいと思います。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

大森委員。

(大森委員)

各社とも道德の原点であります心磨きに工夫がされておりましたが、その中でも、私は光村図書出版を推薦したいと思います。

光村図書出版、日本文教出版は、文章量、フォントが見やすく、適度にイラストがあり見やすく、生活の具体的な場面を取り上げた教材が多数あるように感じました。日本文教出版、光文書院、Gakkenは、自分事として考える内容が多かったと感じております。

日本文教出版は、多角的に考えられるよう、「心のベンチ」を掲載したり、自分事として考えることができる内容が盛り込まれていること等は素晴らしいと思いました。

光文書院は、自信を持って発言するための思考ツールが提示されていることは素晴らしいと思いました。

Gakkenは、学習を基に自分につなげて考えたり、体験したり、話題を広げたりする心のサポートが設けられていることは、素晴らしいと率直に思いました。

光村図書出版は、振り返りを毎時間行うことができ、シールで自分の振り返りを工夫されていることや、最初の教材に道德の学び方が示されており、自分と向き合い、考える工夫がされて、一人一人が意欲的に考え、話し合えるようになっておりました。

結論といたしましては、各社ともすばらしく、甲乙つけにくい中、私は、シンプルに、コンパクトに取扱いやすい光村図書出版を推薦いたします。

(教育長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

布谷委員。

(布谷委員)

どの教科書も道德的価値を自分のこととして理解し、深く考えたり、議論したりすることができるように工夫されていると思います。その中で、私は光村図書を推薦します。

道德は、何を学ぶ教科なのか分かりやすく示され、1年間の学びを通し、どのように学べばよいのかも理解しやすくなっています。また、1時間の学習の流れとして、「考えよう・話し合おう」、「つなげよう」に具体的な問いが示されることにより、実生活の行動に移せる工夫がされていると思います。このことが大事なのかなというふうに思います。

また、現代的な重要課題であるいじめ問題や情報モラル等のテーマについて、話とコラムを併せて学習できるユニットも構成されているところもよいと思います。「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」や、挿絵や写真、文字

の大小のバランスなども、学習効果を高めるのに有効であると感じました。
以上です。

(教育長)

ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。山本委員。

(山本委員)

特別の教科道德の教科書は、本当に各社が力を入れて作られていて、そのエネルギーをすごく感じたように思っています。

その中で、まず光村図書出版は、問題解決のために個人やグループでの考えを共有できるような工夫、自他共に認め合うものを多く感じ取ることができました。また、適度にイラストがあって、まず学年の最初での道德って何を学ぶのというところが、学年に応じて分かりやすい言葉とイラストで説明しているのがよかったと思います。

日本文教出版は、適度にイラストがあって、最近の話題の人物の写真も掲載してあって見やすいなと感じました。

光文書院は、漫画形式や写真、1枚の絵から考える教材など、多様な教材の形式を取り入れているというふうに感じました。

Gakkenは、「生命の尊さ」、この教材が全学年必ず3つずつ入っていて、命を最重点テーマにしているところはとてもいいと感じました。

その中で、私は光村図書出版を推薦します。生活を具体的に取上げた題材が多数使われ、それぞれ工夫してあるのと考えやすくなっているところ、巻頭に対話を通じて道德的な課題に向き合って、考えを深め合う「話し合いのこつ」というのが示されているところがあってよかったというふうに感じています。また、寒川の児童にとっては、光村図書出版は、国語と違って読みの負担を軽減するための工夫もされているところがよいと思いました。

従って私は、光村図書出版を推薦いたしますが、どの出版社の教科書も、どの児童にも読んでもらいたく、とてもよくできていて、ぜひとも全社のものを各小学校の図書室に置いてほしいという感想を持ちました。以上です。

(教育長)

ありがとうございました。私も同じようなことを感じております。推薦があった4社は特に、どれも様々な課題がバランスよく配置されていて、すばらしいなと感じました。道德の授業では、子どもの興味・関心、不安、悩み、いじめなどといった子どもの問題意識にぴたっとマッチする題材が多く配置されているものもいいなと思いますが、そういう意味で、特に光村図書はそういうものをいっぱい感じましたので、推薦させていただきます。

今ご意見を伺ったところ、皆さん光村図書がよいのではないかとということで一致しておりますが、他にご意見よろしいでしょうか。

ございませんようでしたら、特別の教科道徳につきましては、寒川では光村図書出版ということでよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

(教育長)

それでは、そのように取り計らってください。よろしくお願いいたします。

これで一通り教科用図書について選択させていただきました。

ここで、議案作成のために時間を15分程度頂戴したいと思います。

暫時休憩いたします。

(休 憩)

(教育長)

それでは、休憩を解いて会議を再開いたします。

議案第16号「令和6年度使用寒川町立小学校・中学校教科用図書の採択について」、事務局から提案をお願いいたします。黄木課長。

(学校教育課長)

それでは、提案に当たりまして、先ほど皆様に選定していただきました結果を含め、「令和6年度使用小学校教科用図書」を一覧にまとめたものと、「令和6年度使用中学校教科用図書」を一覧にまとめたものをお配りさせていただきました。

なお、今年度、寒川町の中学校で使用している教科用図書は、令和2年度に採択替えを行ったものであります。発行できなくなった場合などを除いて、原則、令和6年度については継続使用年度となっております。このことは、先ほど資料として提出しました「令和6年度使用小学校・中学校教科用図書採択方針」にも盛り込まれておりまして、5月の定例会で御承認していただきました。したがって、令和6年度は、今年度使用している教科用図書を継続して採択することを提案させていただきたいと思っております。

それでは、議案第16号について、読み上げをもって提案させていただきます。

議案第16号「令和6年度使用寒川町立小学校・中学校教科用図書の採択について」。令和6年度使用小学校・中学校教科用図書の採択について、別紙のとおり提案する。

令和5年8月7日提出。寒川町教育委員会、教育長、大川勝徳。

提案理由。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律(昭和38年法律第182号)第10条及び第13条の規定により提案する。

まず初めに、令和6年度使用小学校教科用図書でございます。一覧表を御覧ください。(案)となっております。教科、種目、発行者の略称の順に読み上

げさせていただきます。

まず、国語、種目、国語、光村。教科、国語、種目、書写、光村。社会、種目、社会、略称、教出。社会、種目、地図、帝国。教科、算数、種目、算数、教出。教科、理科、種目、理科、大日本。教科、生活、種目、生活、光村。教科、音楽、種目、音楽、教出。教科、図画工作、種目、図画工作、開隆堂。教科、家庭、種目、家庭、開隆堂。教科、体育、種目、保健、東書。教科、外国語、種目、英語、光村。教科、特別の教科道德、種目、道德、光村。

次に、令和6年度使用中学校教科用図書でございます。そちらも別紙一覧表を御覧ください。こちらも教科、種目、発行者の略称の順で読み上げさせていただきます。

教科、国語、種目、国語、光村。教科、国語、種目、書写、光村。教科、社会、社会（地理的分野）、帝国。教科、社会、種目、社会（歴史的分野）、帝国。教科、社会、種目、社会（公民的分野）、日文。教科、社会、種目、地図、帝国。教科、数学、種目、数学、教出。教科、理科、種目、理科、啓林館。教科、音楽、種目、音楽（一般）、教芸。教科、音楽、種目、音楽（器楽合奏）、教芸。教科、美術、種目、美術、日文。教科、保健体育、種目、保健体育、東書。教科、技術・家庭、種目、技術・家庭（技術分野）、教図。教科、技術・家庭、種目、技術・家庭（家庭分野）、教図。教科、外国語、種目、英語、光村。教科、特別の教科道德、種目、道德、東書。

以上となっております。どうぞよろしくお願いいたします。

（教育長）

ありがとうございました。

ただいま事務局より提案がありましたが、何か御質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

特にないようでしたら、議案第16号「令和6年度使用寒川町立小学校・中学校教科用図書の採択について」は、原案のとおり決するという事でよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

（教育長）

ありがとうございます。それでは、本議案は原案のとおり決します。（案）をお消してください。以上で議事を終了いたします。

4. 閉 会

（教育長）

これで本日の日程は終了いたしました。

これをもちまして、令和5年寒川町教育委員会第3回臨時会を閉会いたします。

す。どうも皆様、お疲れさまでございました。

上記事項につき全委員確認し終了したので閉会を宣言した。

上記会議録の顛末を記載し相違ないことを証してここに記載する。

令和6年 1 月 5 日

教育長 大川 勝徳

署名委員 山本 博司

署名委員 大森 博明

会議録調製者 千野 あすさ

